

第7期生駒市障がい者福祉計画変更箇所一覧(12月定例会後)

No.	意見者	ページ	意見・指摘箇所等	意見・指摘箇所等への対応
1	議会	P9～ P15	統計データについて、グラフと数字が重なっていて見えにくい。	数字の表記について、白抜きにするなど見えやすいように修正しました。
2	議会	P11	「知的障がいの程度別療育手帳所持者数の推移」について、各区分の説明を入れてはどうか。	計画に付属する参考資料として作成予定の「用語解説」において、説明を記載します。
3	議会	P29	「たけまるノート」についての説明を入れてはどうか。	計画に付属する参考資料として作成予定の「用語解説」において、説明を記載します。
4	議会	P47	自立支援協議会体系図について、「個別支援会議」「課題・ニーズ」の矢印の個数の意味はあるのか。わかりにくいため、文章で説明してはどうか。	「個別のケースごとに個別支援会議を開き、それぞれのニーズや課題を洗い出す」という文章の説明を入れて、矢印を1つにしました。
5	議会	P65、 P66	国の基本指針に基づき定める目標値の表の右欄について、「考え方等」という表記はわかりにくいため「算定方法」などわかりやすい表記に変えてはどうか。	右欄の表記を「算定方法」に修正しました。
6	議会	P79	ページの最後の文章について、「サービスの適正な利用につながります」という文言について、現状で不適正な事例がある、又はそうなる可能性が高いと誤解されかねないため、別の表現としてほしい	・該当箇所を以下のとおり修正しました。さらに、申請者のエンパワーメントの観点から、申請者自身が計画の作成(セルフプラン)を希望される場合については、効果的な療育支援に向けた作成支援や助言等を行います。

No.	意見者	ページ	意見・指摘箇所等	意見・指摘箇所等への対応
7	障がい者 地域自立支援 協議会	P10～ 12	障害者手帳所持者数の推移について、各手帳の等級や障がいの程度の簡単な説明(重たい順に1級から6級までなど)を入れた方がよい	表のデータとして、障がいの程度の説明について、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳それぞれに以下のとおり追記しました。 (身体障害者手帳) ※障がいの程度は、重たい順に1級～6級となります。 (療育手帳) ※障がいの程度は、A1(最重度)、A2(重度)、B1(中度)、B2(軽度)に区分されます。なお、平成22年5月31日以前に発行された手帳で、平成22年6月1日移行に判定がない場合は、A(最重度、重度)、B(中度、軽度)に区分されています。 (精神障害者保健福祉手帳) ※障がいの程度は、重たい順に1級～3級となります。
8	障がい者 地域自立支援 協議会	P62	「農福連携の推進」の事業概要について、農福連携は雇用の場に限らず、レクリエーションや生きがいづくりの場という役割も担っている意味合いを含めてほしい。	・該当箇所を以下のとおり修正しました。 障がい者が社会的な役割を持てるよう、農業を通じたケアやリハビリ、生きがいづくりを支援し、将来的な農業の担い手不足の解消および障がい者の職域の拡大や工賃の上昇等に向けて農福連携の取組を推進します。
9	事務局 内	P3	関連法の法令名誤り(障害者による文化芸術活動の推進に関する法律)	正しい法令名に修正しました。
10	事務局 内	P6	SDGsのロゴについて、本計画の該当分野のみを掲載している。	SDGs全体像を把握しやすいようにするため、全分野のロゴを掲載しました。
11	事務局 内	P29	～各種アンケート結果から～により引用しているアンケート結果の数値に誤りがあった。	該当箇所を以下のとおり修正しました。 ・こどもの気になるところに最初に気づいてから「1か月以内に相談した」のは34.7%→ 34.8% ・「少し成長がゆっくり、又は成長すれば変わらと思った」が54.6%→ 54.3% ・「相談先が分からなかった」が21.5%→ 21.7%

No.	意見者	ページ	意見・指摘箇所等	意見・指摘箇所等への対応
12	事務局内	P30	～各種アンケート結果から～ により引用しているたけまるノート の利用に関する質問の回答項目 に誤りがあった。	1行目について、正しいアンケートの回答 項目に改め、今回アンケートの回答項目 と前回アンケートの回答項目に差異があ り、純粹比較ができないため、表現を以 下のとおり修正しました。 ・たけまるノートを「持っており使ってい る」方は42.2%となっております。(前回 調査(令和2年実施)「持っている」が 42.2%)
13	事務局内	P34	～各種アンケート結果から～ により引用しているアンケート結 果の数値に誤りがあった。	該当箇所を以下のとおり修正しました。 ・利用してみたいコミュニケーション手段 としては、「パソコン・スマートフォンなど (28.5%)に次いで「手話」が8.5%→ 8.4%